



2024年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2024年2月7日

上場会社名 株式会社 丸運

上場取引所 東

コード番号 9067 URL <https://www.maruwn.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 桑原 豊

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員 (氏名) 植西 祐

TEL 03-6810-9451

四半期報告書提出予定日 2024年2月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第3四半期の連結業績(2023年4月1日～2023年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	33,850	3.0	343	80.7	465	38.1	252	4.8
2023年3月期第3四半期	34,902	0.0	190	56.7	337	37.1	240	12.1

(注) 包括利益 2024年3月期第3四半期 478百万円 (5.0%) 2023年3月期第3四半期 503百万円 (117.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	8.74	
2023年3月期第3四半期	8.34	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期第3四半期	37,169	24,639	65.6	843.82
2023年3月期	37,685	24,479	64.1	836.63

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 24,374百万円 2023年3月期 24,166百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2023年3月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期		4.00		4.00	8.00
2024年3月期(予想)		4.00		5.00	9.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	45,700	1.9	590	34.2	700	14.3	480	51.8	16.62

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2024年3月期3Q	28,965,449 株	2023年3月期	28,965,449 株
------------	--------------	----------	--------------

期末自己株式数

2024年3月期3Q	79,923 株	2023年3月期	79,695 株
------------	----------	----------	----------

期中平均株式数(四半期累計)

2024年3月期3Q	28,885,649 株	2023年3月期3Q	28,886,057 株
------------	--------------	------------	--------------

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間のわが国の経済は、新型コロナウイルス感染症が「5類」に移行し、行動制限が緩和されたことを背景に、インバウンド需要は大幅に回復し、10月には訪日外客数が2019年同月の水準を上回りました。自動車の生産を抑制してきた半導体不足も解消し、自動車販売台数は増加基調を維持している等、景気は緩やかな回復基調となりました。一方、依然として物価上昇圧力は高く、消費者マインドの冷え込みが懸念されるほか、幅広い業種で人手不足が深刻化しつつあり、供給制約の問題も不安材料である等、先行き不透明な状況が続いています。

物流業界においては、物価上昇により国内の個人消費は低迷し、消費関連貨物は対前年マイナスの荷動きとなっています。また、生産関連貨物も半導体不足による生産制約が解消に進む自動車関連の輸送が伸びたものの、原材料・燃料の価格高騰等を受け、鉱工業生産が低調に推移する等対前年では若干のマイナスの荷動きとなっています。更に、住宅投資の減少等により建設関連貨物も大幅に減少したことから、国内の貨物総輸送数量は、前年を下回る状況で推移しています。

このような経営環境の中、当社グループは、長期的な企業価値の向上を目指した「2030丸運グループ長期ビジョン」の実現に向けて、2023年度を初年度とする第4次中期経営計画を策定し、適正運賃・料金の収受及び素材一貫物流の拡大に取り組んでいます。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の営業収益は、半導体の需要低迷に伴う素材産業の輸送量減少や貿易量の減少により、前年同期比3.0%減の338億50百万円となりました。

経常利益は、新規一貫物流業務の受注や運賃改定による増益及び基幹システムの導入費用が減少したことから、前年同期比1億28百万円増の4億65百万円となりました。また、親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同期比11百万円増の2億52百万円となりました。

セグメント別の業績概況は次のとおりです。

《貨物輸送》

当部門においては、自動車向けアルミ材輸送量は回復傾向にあり、また、機工業務における一貫物流業務の受注、料金改定の進展や流通拠点における冷蔵貨物の取扱増及び基幹システム導入費用等の減少による増益要因はあったものの、空調機器在庫調整に伴う部材減産及び情報機器の減産に伴う高機能半導体の輸出減により、引続き素材物流は全般的に低調に推移したことに加え、一部物流拠点のリフォーム工事費用増により減収減益となりました。

これらの結果、営業収益は前年同期比3.3%減の170億52百万円、経常利益は前年同期比9百万円減の85百万円となりました。

《エネルギー輸送》

石油部門においては、石油製品の内需減の影響等により、輸送数量が前年同期比2.2%減少となりました。潤滑油・化成品部門は、自動車生産は回復基調にあるものの、前期からの素材等の滞留在庫の影響があり、主要顧客の輸送数量が前年同期比1.2%減少となりました。

しかしながら、運賃改定の影響により営業収益は増加し、また車両投資が一巡した影響で減価償却費が減少となりました。

これらの結果、営業収益は前年同期比2.8%増の114億92百万円、経常利益は前年同期比2億1百万円増の1億87百万円となりました。

《海外物流》

当部門においては、中国から日本向け大型設備輸送業務の受注及びベトナムにおけるレジャー用品の取扱数量増はあったものの、情報機器における半導体需要の低迷及び中国の日系自動車メーカーにおける販売不振により貿易量が大きく減少し、減収減益となりました。

これらの結果、営業収益は前年同期比16.4%減の39億51百万円、経常損益は前年同期比87百万円減の24百万円の損失となりました。

《テクノサポート》

当部門においては、油槽所関連では業務委託料の改定により増益となったものの、製油所関連では主に産廃搬出業務及び緑化業務の取扱量減少により減収、前年度に発生した関係会社での退職金制度変更に伴う引当金の戻しかなかったこと、並びに人員補充に伴う費用の増等により、全体としては減益となりました。

これらの結果、営業収益は前年同期並みの13億32百万円、経常利益は前年同期比32百万円減の36百万円となりました。

当期のセグメント別の営業収益及び経常利益は次のとおりです。

セグメント	営業収益	前年同期比	経常利益	前年同期増減額
貨物輸送	17,052百万円	96.7%	85百万円	△9百万円
エネルギー輸送	11,492	102.8	187	201
海外物流	3,951	83.6	△24	△87
テクノサポート	1,332	99.3	36	△32
その他事業	21	111.9	179	55
合計	33,850	97.0	465	128

(注) その他事業の区分は各報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、不動産賃貸業、損害保険代理業及び事務代行業等並びに各報告セグメントに配分していない全社収益・費用の純額等であります。

(2) 財政状態に関する説明

《資産》

当第3四半期連結会計期間末における総資産は371億69百万円となり、前期末に比べ5億15百万円減少しました。この主な要因は、季節差等による受取手形の減少1億18百万円並びに償却等による有形固定資産及び無形固定資産の減少4億12百万円等によるものであります。

《負債》

当第3四半期連結会計期間末における負債は125億30百万円となり、前期末に比べ6億75百万円減少しました。この主な要因は、季節差等による営業未払金の減少2億46百万円、借入金返済に伴う借入金の減少4億34百万円及び賞与引当金の減少3億8百万円等によるものであります。

《純資産》

当第3四半期連結会計期間末における純資産は246億39百万円となり、前期末に比べ1億60百万円増加しました。この主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益を2億52百万円計上したことによる増加、配当金の支払による減少2億31百万円及びその他有価証券評価差額金の増加1億63百万円等によるものであります。この結果、自己資本比率は前期末の64.1%から65.6%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想については2023年11月8日公表の予想を修正しておりません。

なお、業績予想につきましては、本資料の発表日において入手可能な情報に基づき当社で判断したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想値と異なる場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,234	2,075
受取手形	280	161
電子記録債権	370	360
営業未収入金及び契約資産	5,598	5,483
棚卸資産	61	88
その他	1,000	1,141
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	9,543	9,310
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	4,372	4,402
機械装置及び運搬具（純額）	2,262	2,067
土地	16,840	16,853
その他（純額）	374	367
有形固定資産合計	23,849	23,690
無形固定資産		
ソフトウェア	1,086	830
その他	88	91
無形固定資産合計	1,175	922
投資その他の資産		
投資有価証券	2,321	2,559
繰延税金資産	187	75
その他	731	734
貸倒引当金	△123	△122
投資その他の資産合計	3,116	3,247
固定資産合計	28,141	27,859
資産合計	37,685	37,169
負債の部		
流動負債		
営業未払金	2,764	2,517
短期借入金	1,444	1,590
未払法人税等	171	45
賞与引当金	665	356
災害損失引当金	—	20
その他	2,499	2,878
流動負債合計	7,545	7,408
固定負債		
長期借入金	1,070	490
再評価に係る繰延税金負債	1,886	1,886
退職給付に係る負債	2,232	2,227
訴訟損失引当金	56	—
資産除去債務	69	69
その他	344	447
固定負債合計	5,660	5,121
負債合計	13,205	12,530

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,559	3,559
資本剰余金	3,087	3,067
利益剰余金	13,705	13,727
自己株式	△22	△22
株主資本合計	20,329	20,331
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	904	1,068
土地再評価差額金	2,901	2,901
為替換算調整勘定	71	98
退職給付に係る調整累計額	△40	△26
その他の包括利益累計額合計	3,836	4,042
非支配株主持分	313	265
純資産合計	24,479	24,639
負債純資産合計	37,685	37,169

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
営業収益	34,902	33,850
営業原価	32,425	31,206
営業総利益	2,476	2,643
販売費及び一般管理費	2,286	2,300
営業利益	190	343
営業外収益		
受取利息	5	6
受取配当金	74	70
その他	89	73
営業外収益合計	169	150
営業外費用		
支払利息	16	9
固定資産圧縮損	—	10
その他	5	7
営業外費用合計	22	27
経常利益	337	465
特別利益		
固定資産売却益	40	47
投資有価証券売却益	4	—
訴訟損失引当金戻入額	—	20
その他	1	—
特別利益合計	46	67
特別損失		
固定資産除売却損	0	4
減損損失	1	—
災害損失引当金繰入額	—	40
その他	0	0
特別損失合計	1	45
税金等調整前四半期純利益	381	488
法人税、住民税及び事業税	77	73
法人税等調整額	64	145
法人税等合計	141	218
四半期純利益	240	269
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△0	17
親会社株主に帰属する四半期純利益	240	252

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益	240	269
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	247	163
為替換算調整勘定	△2	30
退職給付に係る調整額	17	14
その他の包括利益合計	263	208
四半期包括利益	503	478
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	504	457
非支配株主に係る四半期包括利益	△1	20

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。